

図①-1：地下水に関する基礎的な図面

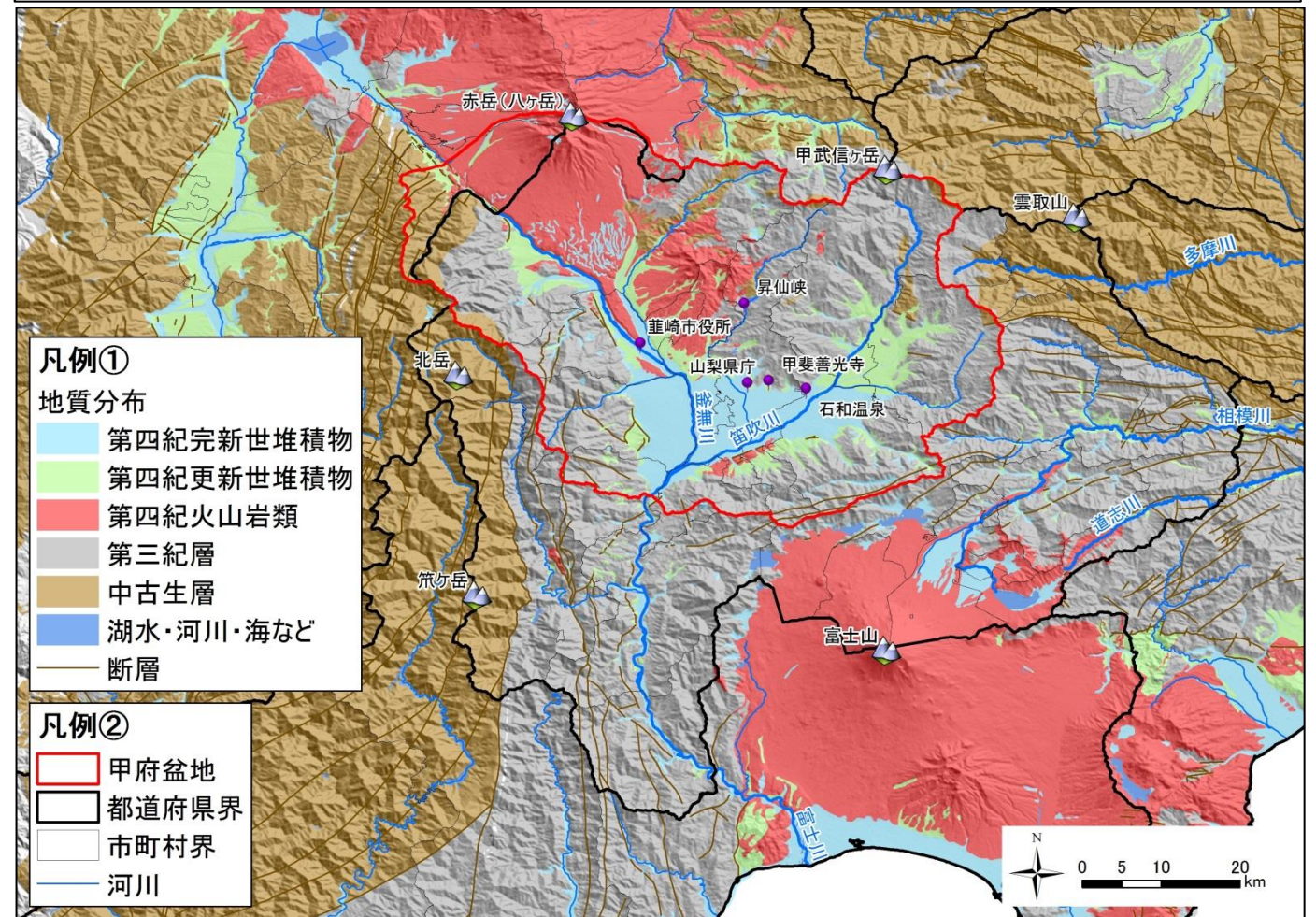
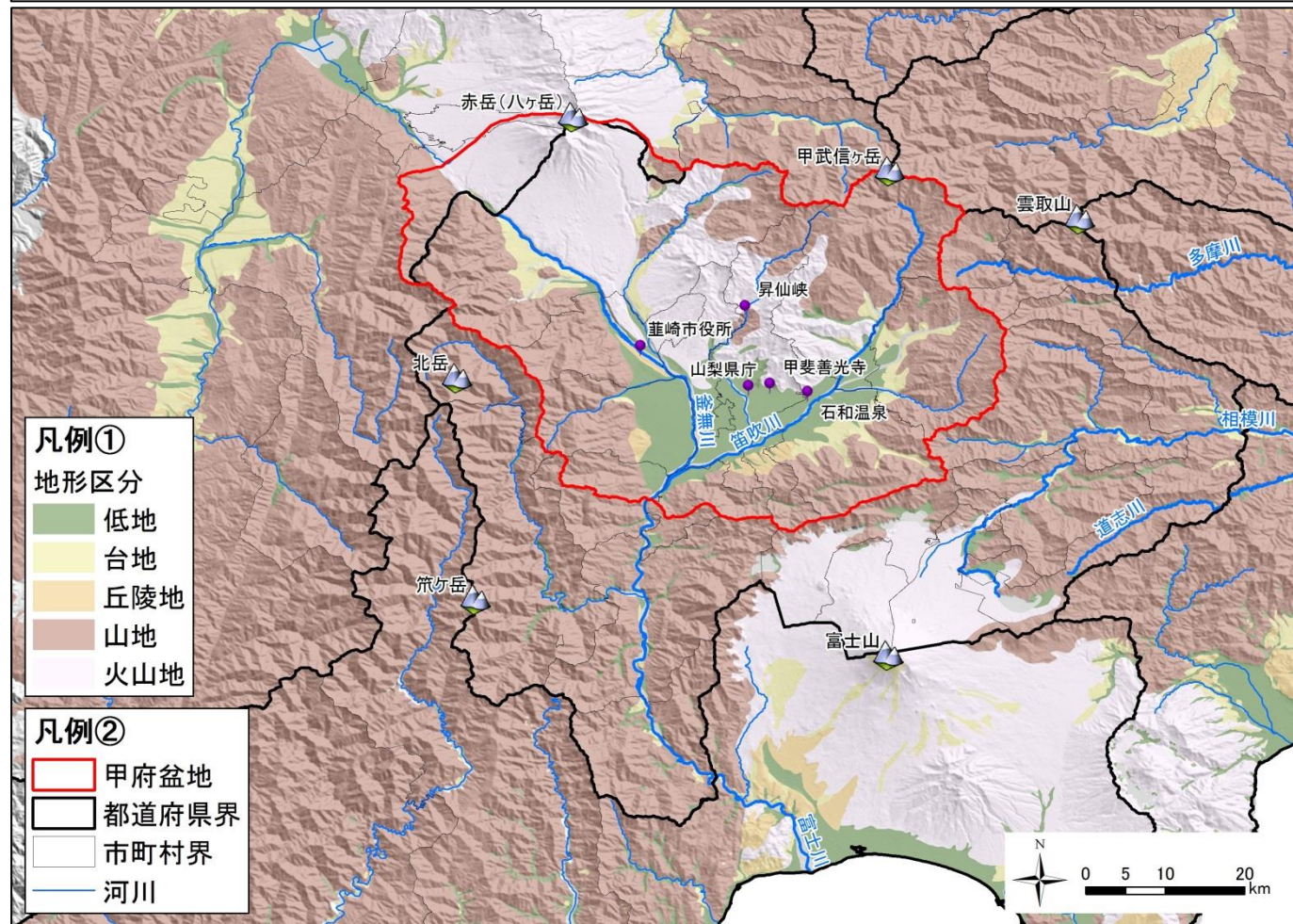
甲府盆地における基礎情報として、周辺地域も含めた地形、地質を図面化した。

A. 地形

- ・北部に八ヶ岳などの火山群、南部には富士火山がある
- ・南アルプス連峰、八ヶ岳山麓のほか台地や丘陵、溪谷等複雑な地形がある
- ・八ヶ岳の火砕流堆積物が形成する急崖が釜無川左岸に見られる
- ・河川浸食により形成された急崖が多い
- ・甲府盆地は大量の土砂流出により形成された扇状地である

B. 地質

- ・関東山地・赤石山地は主として中生層の堆積岩で構成されている
- ・御坂、巨摩、丹波山塊および富士川沿岸の山地や相模川左岸の山地を構成する地質は第三紀層の堆積岩等である
- ・小御岳火山、古富士火山および黒富士・八ヶ岳などは、陸上の火山岩類である
- ・盆地内や周辺の丘陵は第四紀に堆積した



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 28 情使、第 6 号)」

凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
地形	50万分の1土地分類基本調査 地形分類図	国土交通省国土政策局国土情報課
地質分布	20万分の1日本シームレス地質図(2009年)	産業技術総合研究所地質調査総合センター
行政界	国土数値情報 行政区域	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院

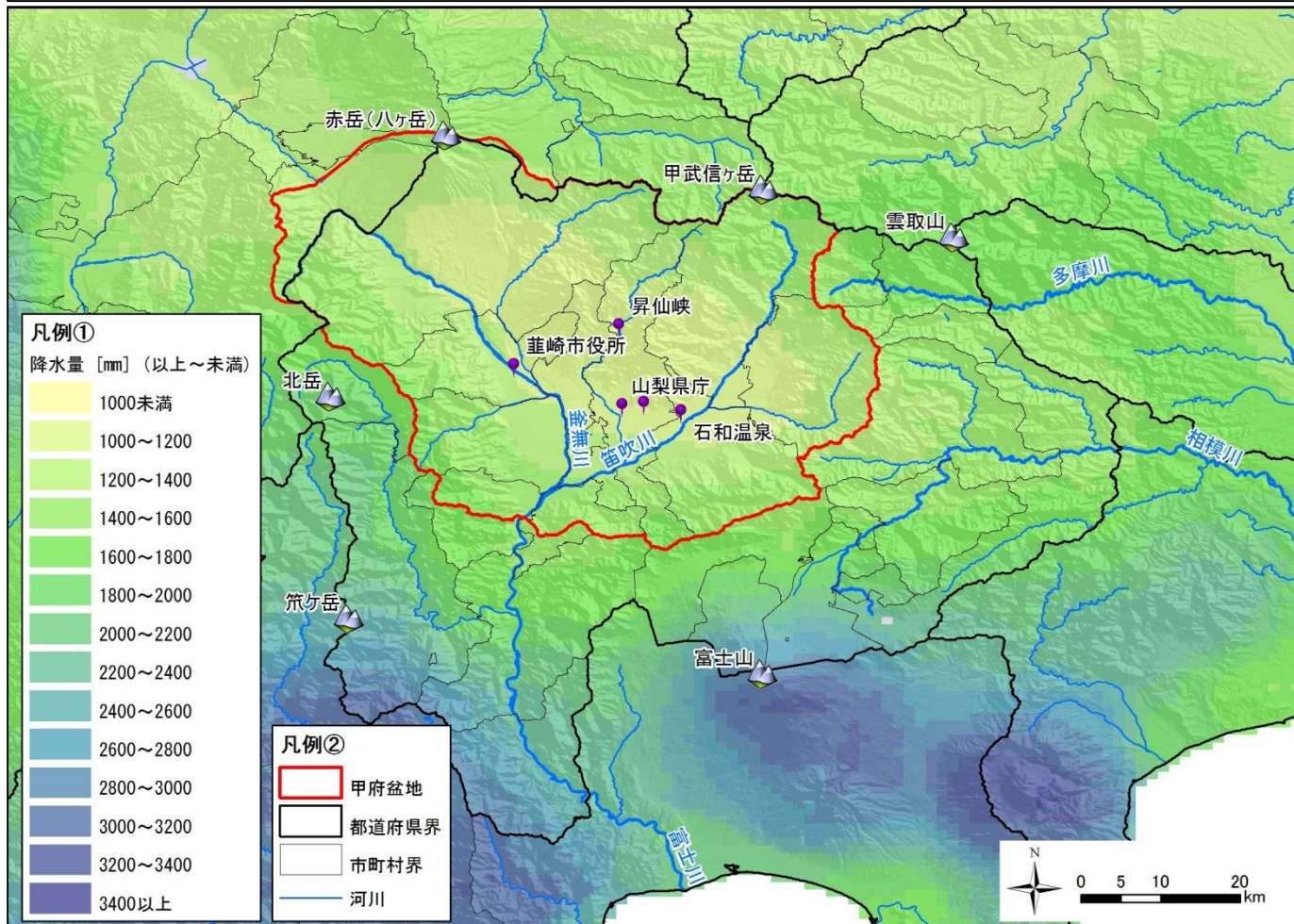
注意！！ 本資料の作成にあたっては、専門家の助言をうけておりますが、利活用にあたっては、専門家の監修を受けるようにして下さい。

図①-2：地下水に関する基礎的な図面

甲府盆地における基礎情報として、周辺地域も含めた降水量、地下水位を図面化した。

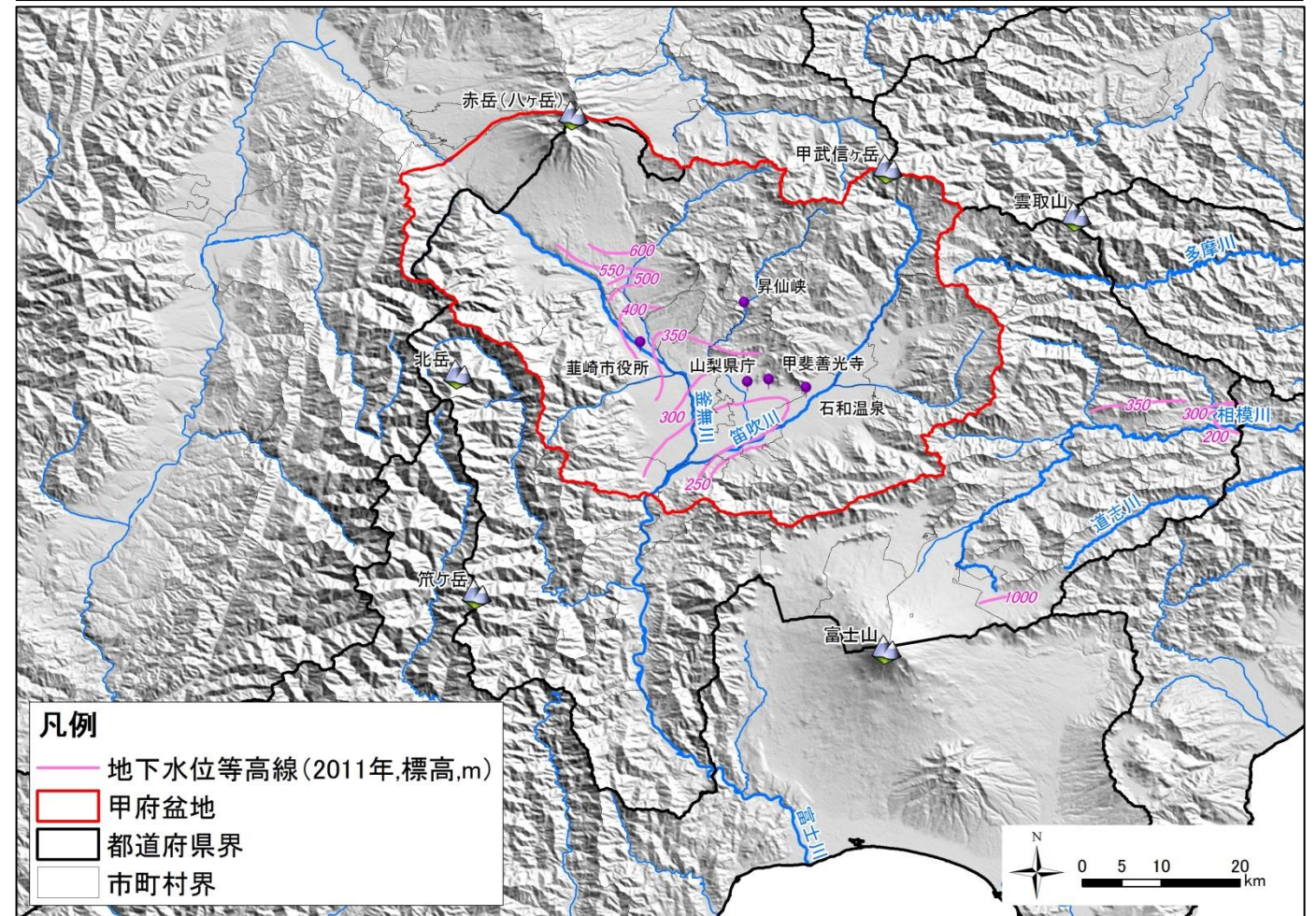
C. 降水量

- ・釜無川および笛吹川沿いの標高の低地部では降水量が少ない
- ・山地の降水量は低地に比べ多い
- ・甲府市の年平均降水量は 1135.2mm(1980～2010 の平均)



D. 地下水位

- ・甲府盆地の地下水面は、釜無川に沿った形で傾斜している
- ・地下水位等高線は、盆地内では緩やかな傾斜を示すが、西部では地形の傾斜とともに急になる
- ・盆地中央部で標高約 250m、東部では標高約 400m、南部では標高約 300m である



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 28 情使、第 6 号)」

凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
降水量	国土数値情報 平年値(気候)メッシュ	国土交通省国土政策局国土情報課
地下水等高線(2011年)	水資源実態等調査(2次調査)業務委託報告書	山梨県森林環境部
行政界	国土数値情報 行政区域	国土交通省国土政策局国土情報課
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課
背景図	基盤地図情報(数値標高モデル)	国土地理院